

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

管理栄養士の国家試験の合格率が高いという点に興味を持ち、オープンキャンパスへ行った際に、充実した学習環境が整っており、学生の雰囲気もよかったので志望校に決めました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

まだ部活動があり忙しかったので、学校の授業をしっかりと聞いて理解できるようにしていました。受験科目の理科は生物が得意教科だったので生物を受験することに決め、問題集を何度も解いて知識を定着させました。人に説明をし、インプットとアウトプットを繰り返すことでより確実にしました。

〔夏休み〕

苦手な英語を基本文法から勉強し直しました。文法をきちんとおさえていくと、難しい英文も構造を理解できるようになりました。英語の長文を読むことが苦手だったので、長文読解を毎日行うことを習慣づけました。また、これまで受けた模試を見返し、解説を隅々まで読み理解するという勉強もしました。理科の基礎科目は、苦手分野を中心に総復習をしました。

〔2学期～入試直前〕

同志社女子大学の過去問を解き、英語は知らない単語ばかりだったので、少しでも空いた時間があるときは英単語を覚えるようにしました。過去問に出てきた単語は全て意味を覚えるようにしました。理科は、幅広い範囲から出題され、基本的なものから細かいところまで問われるので、わからないところは資料集をしっかりと読んで理解するようにしました。過去問は4年分の問題を繰り返し解き、特殊な同志社女子大学の入試問題の形式に慣れるようにしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活は手を抜かず一生懸命しました。部活をしている間は2時間ほどしか学習時間がとれませんでした。部活で培った集中力もあり、限られた時間で効率よく勉強することができました。スマートフォンに英単語のアプリを入れて、楽しんで単語を覚えていました。模試では思うような判定が出ず苦しい時期もありましたが、同志社女子大学のパンフレットやホームページを見てやる気を出していました。推薦入試は周りの人よりも早く入試があり不安や焦りもありましたが、友人と励まし合い乗り切りました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強は苦手科目から逃げないことがとても重要です。そして、受験当日は独特の雰囲気がありますが、それまでの自分の努力を信じて焦らずに問題を解いていけば大丈夫です。体調管理をしっかりと、万全の態勢で挑んでください。応援しています。